

三重大大学血液内科 学術研究に関するお知らせ

(初版 2014 年 4 月 30 日作成)

「リンパ系腫瘍における遺伝子発現解析と遺伝子変異の検討」に関するお知らせ

リンパ系腫瘍の治療成績を良くするためにも、病気のことをもっと調べる必要があります。この研究はリンパ系腫瘍細胞の遺伝子やタンパク質などの変化を調べることで、その特徴的な発現様式とそれぞれの病気の特徴的な症状や広がり方、予後との関連を明らかにして、その変化に直接作用することができる新しい治療法へのつながりを得ることを目的としています。

研究の内容、方法について

この研究ではあなたから提供して頂いた試料を使って、細胞から RNA（遺伝子）を抽出します。マイクロアレイといって一度に数万個の遺伝子の発現をみることができる分析器具を使って、がん細胞に特徴的な遺伝子の発現の仕方を調べます。病気の特徴づけていると思われる遺伝子の候補については、さらに遺伝子の塩基配列に変化が生じていないかを解析します。本研究によって直接あなたに有益な情報をもたらす可能性は極めて低いと考えられます。一方、遺伝的な素因を明らかにする研究ではありませんので、研究の結果重大な病気との関連が見つかる可能性についてはほとんどありません。試料の提供は主に診療のために採取される血液、骨髄液、または生検組織の一部を利用するため、研究のために新たに提供頂くわけではありません。したがって、組織や血液を提供いただくにあたり、新たな費用負担や採血検査などの身体的負担は一切ありません。本研究の成果は学会や学術論文として公表され、基本的には個人名との照合はいたしません。ただし、患者さんの希望があれば、結果公表後にお伝えすることは可能です。この研究は三重大学大学院医学部研究科 血液・腫瘍内科の委任経理金、科学研究費、国立がん研究センターがん研究開発費の支援を受けています。

この研究の内容および方法は、各参加施設の倫理委員会での厳正な審査の結果承認が得られ、実施について当学医学系研究科長の承認を得ています。ご自分のデータをこの研究に使用してほしくないとお考えの患者さんは、次ページの連絡先までご連絡をお願い申し上げます。データの使用にあたっては、患者さんおよびご家族に診療上の不利益などが一切生じないように、以下のことを厳守いたします。

- 医学研究以外には使用しない
- 患者さんおよびご家族の氏名は公表しない。個人情報厳密に守秘する。
- 研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない
- いつでも同意は撤回可能であり、それによって患者さんに不利益を及ぼすことはない

研究期間

研究期間：2014 年 4 月から 2018 年 12 月末日まで

試料収集期間：1987 年 1 月から 2018 年 12 月末日まで

連絡先、この研究の研究代表者

三重大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学 教授 片山 直之

住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

電話 059-231-5016 FAX 059-231-5200